

## 今の鳥インフルエンザと日本の学校の鶏たちは、別の問題です

### 【問題の整理】

#### 前提

ウイルスは同じ種類の動物の間でのみ感染が広がる  
鳥インフルエンザウイルスもこの性格  
大量の生の病気の鶏糞がいつもある環境では、時たま人に感染する  
今、日本には H5N1 型ウイルスは存在していない

#### 感染の方向と危険性

鳥 鳥：おきる可能性は大きい = 現在の養鶏産業界の問題  
鳥 人：日本での可能性はほとんどない。もしくは、考えられない  
・ ・ 大量の病気の鶏糞を口や肺に入れる環境がない ・ ・ ・  
人 人：おきる可能性は大きい = 世界的な医学の問題で今、世界中がおそれている  
社会的な大問題になるかもしれない

#### 結論

以上から、今の日本で、鳥そのものを人が恐れる必要はない。  
ちょっとした注意（\*）をしていれば 充分である。

\* ちょっとした注意： ・糞を毎日片づける ・世話が終わったら手洗い、うがいをする。

#### 病気を防ぐ基本的な注意

- 1 しっかりとした世話のもとに飼い、動物を病気にさせない。
  - ・ 1 1 月になったら、必ず巣箱を与えて寒さを防ぐ
  - ・ 毎日 糞や食べ残しを清掃をして、乾燥した環境で生活させる。
  - ・ 朝夕の 2 度、動物の元気さをチェックし、新鮮な餌と水を与える。  
(つまり「一人ではないよ」と動物を安心させること)
- 2 普通の衛生観念を実行し、人への感染を防ぐ
  - ・ 疲れないように しっかり食べて十分な睡眠をとる
  - ・ (流行期らしくなったら) 人混みにでない、出るときはマスクをする
  - ・ 外出から帰ったら (人混みにでたり、外遊びしたり、動物の世話をしたら) 手あらい、うがいを励行する。

(人のインフルエンザ予防・意外に弱い病原なので、うがいと手洗いで効果があります。)

\*\*\*\*\*

2005年11月20日発信

全国学校飼育動物研究会 事務局長 中川 美穂子

T0422-53-7099 F0422-56-9086

[m-nakagawa@vet.ne.jp](mailto:m-nakagawa@vet.ne.jp)

「学校飼育動物を考えるページ」

<http://www.vets.ne.jp/~school/pets/>

「学校飼育動物研究会」

<http://www.vets.ne.jp/~school/pets/siikukenyukai.htm>

-----  
全国学校獣医師連絡協議会(CAS) 主宰

